

## 山元町震災がれきを海岸堤防復旧に活用します

### ～山元町、宮城県、東北地方整備局が連携し震災がれきを海岸堤防に活用します～

震災がれきの処理や有効活用は、震災被災地がかかえる共通した課題となっております。

山元町、宮城県、東北地方整備局では、山元町で発生した震災がれきの有効活用を目的に調査や試験施工を行ってきました。その結果、堤防盛土材料として利用可能と判断できましたことから、11月から東北地方整備局は海岸堤防盛土材として活用を行うこととしました。

今回の活用により山元町及び宮城県ではがれき処理の推進と最終処分量の縮減、東北地方整備局では盛土材の確保及び運搬車両の交通混雑抑制などの効果が得られます。

このような取組みは、既に仙台市、名取市で発生した震災がれきについても実施しております。

### 《 海岸堤防の盛土材に活用する震災がれき ⇒ 約4万m<sup>3</sup> 》

○今回活用する震災がれき・・・「津波堆積土砂」※1

(※1 津波により、陸上に堆積した土砂・泥状物等や、津波により砂や土が付着したのがれきから、ふるい分けた砂や土)

※ 東北地方整備局で施工する山元町内の海岸堤防で、今後必要となる盛土材のおよそ20%について震災がれき（津波堆積土砂）を活用します。

※ 今回活用する震災がれき（津波堆積土砂）については、環境省通知に基づき安全性が確認され、盛土材としての必要な基準値を満足したものを活用いたします。

(添付資料)

○ 震災がれき活用概要

<発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者クラブ、東北専門記者会>

#### 【問い合わせ先】

山元町 町民生活課	班長	あべ まさのり 阿部 正憲
	TEL 0223-37-1112	
宮城県 環境生活部 震災廃棄物対策課 岩沼事務所	技術補佐	もり のぶひこ 森 信彦
	TEL 070-5572-7207 (直通)	
東北地方整備局 仙台河川国道事務所 仙台湾南部海岸復旧推進室	室長	きくち ゆうこう 菊地 裕光
	TEL 022-248-4131 (内線203)	
東北地方整備局 河川部 河川工事課 課長補佐		にへい あきひろ 二瓶 昭弘
	TEL 022-225-2171 (内線3712)	

# 震災がれき活用概要

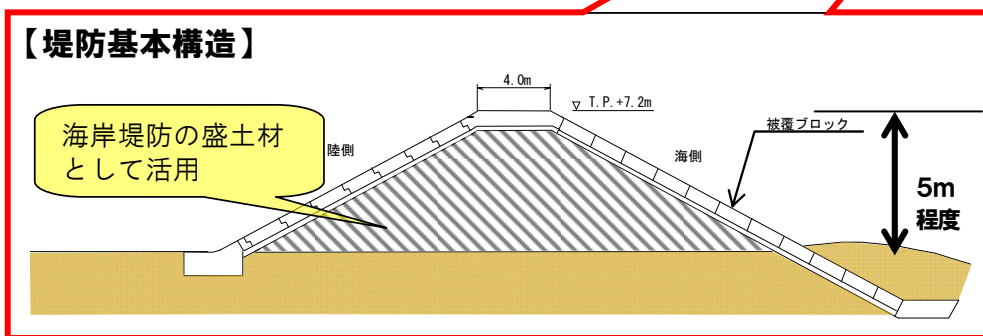
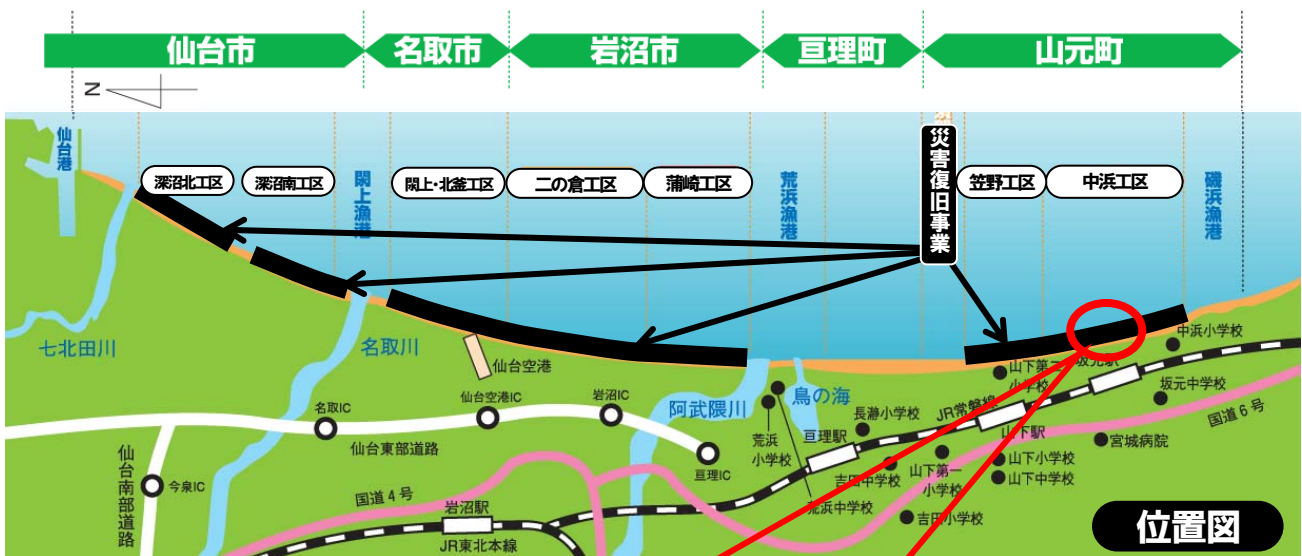
## 1. 仙台湾南部海岸 海岸堤防復旧事業の概要

東北地方整備局では、仙台湾南部海岸において東日本大震災により甚大な被害を受けた海岸堤防の復旧工事に本格着手しております。

東北地方整備局で海岸堤防の復旧を担当している区間は、仙台市、名取市、岩沼市、山元町の4市町の沿岸、約30km（宮城県からの代行区間を含む）にわたり、本区間を平成27年度完成を目標に工事を進めております。

仙台湾南部海岸の堤防復旧は、宮城県沿岸地域における、被災地復興の第一歩となる事業であり、各市町の復興計画や、沿岸域で進められている震災廃棄物処理事業等と連携、調整を行いながら進めております。

## 2. 震災がれき活用箇所



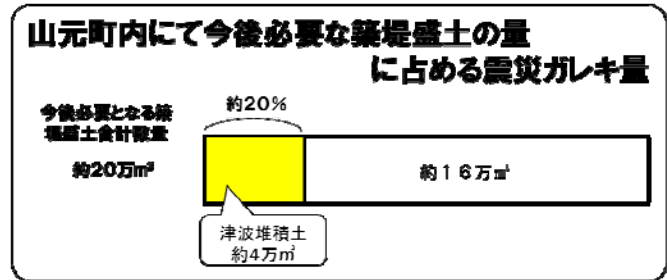
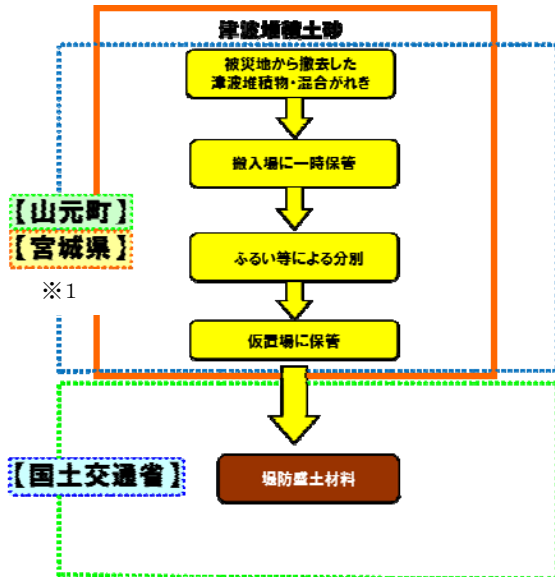
- ※ 活用にあたっては、山元町、宮城県の協力のもと、盛土の試験施工を実施するなどし、盛土材としての適性を確認しております。
- ※ 活用する震災がれきは、津波堆積土砂です。

## 震災がれき活用概要

### 3. 今回活用する震災がれきの量（山元町内の国土交通省施工海岸堤防）

- 山元町内で地震及び津波に関連して発生した震災がれきの再生材量推計 約71万<sup>m</sup>。
- 不要物の除去や再生資材として活用できるよう必要な処理を行い、公共事業の資材として活用。
- 今回活用する震災がれき（津波堆積土砂）は約4万<sup>m</sup>（約71万<sup>m</sup>の約6%にあたる）

今回の震災がれきの活用量は、国土交通省が山元海岸（笠野工区・中浜工区）で今後必要な築堤盛土の量 約20万<sup>m</sup>のうち約20%に相当します。



※1 山元町の委託を受け宮城県で実施

### 4. 震災がれきの活用効果

- 市街地を通過するダンプ<sup>o</sup>台数の軽減（ダンプ8,000～9,000台程度の軽減）
- 震災がれきの処理の軽減（最終処分場の負荷軽減）
- 海岸堤防の盛土材料の安定確保

